



## 概要

高齢社会の進展、バス利用者の減少という現状において、公共交通機関の果たす役割は益々重要なものとなってきている。このような現状を踏まえ将来にわたって利便性の高いバスサービスを提供できるバス交通体系を確立することを目的として、昨年度、熊本市地域公共交通総合連携計画を策定した。本年度は、国道57号線(東バイパス)とその周辺に点在する総合病院を結ぶ環状路線の実証運行 モビリティマネジメントの実施 バストリガー方式導入のための検討 を実施する。

### 国道57号線(東バイパス)とその周辺に点在する総合病院を結ぶ環状路線の運行

本格的な少子高齢社会を迎え、生活に必要な移動手段の確保は、今後益々重要な課題となっていることから、総合病院が点在する東バイパスに西南部と東部を結ぶ環状線を運行させるとともに、中心部に向かう幹線と交差するバス停を乗継利便性向上のサービスを併用して行うことで、環状線の有効性を検証するとともに、路線維持の可能性について検証するもの。

### 公共交通利用促進事業(モビリティマネジメントの実施)

自家用車から利用転換の可能性がある、バスの利便性が高い熊本市南部方面の特定路線沿線を対象にバスに関する基本情報である、時刻表、路線図などを配布し、利用動向にどのような影響があるかを調査し、利用転換を促す。さらに、今回の利用動向やアンケート結果などから検証を行い、対象を全市に広げ利用促進の可能性を探ることとする。

### 公共交通利用促進事業(バストリガー方式導入のための検討)

熊本市内の特定大学の学生に限り特典を与えて公共交通の利用を促すことで、利用の拡大や自動車利用からの転換を図ることを目指す。本年度は、本格実施を見据え、導入の可能性を探るために事前のアンケート調査を行う。

#### バストリガー方式導入のための検討



熊本大学



熊本学園大学



熊本県立大学



熊本市バス路線再編計画

#### モビリティマネジメントの実施

